

令和6年度事業報告

令和6年度は、いわゆる再資源化等高度化法の成立や、当業界が参入を目指している外国人の就労制度の見直しなど、産業廃棄物処理業界が発展していくうえで重要な動きがあった。そのような中で協会の活動も、これまでと同様、安定した展開を図ることができたが、さらに一步踏み込んで、こういった大きな動きに対しどう対応していくかを新たに全産連や関東地域の他都県とともに考えてきた一年であった。

また、令和6年1月に発生した能登半島地震は、同じ半島県である千葉県にも大きなインパクトを与えたが、災害廃棄物の円滑な処理という面において大きな課題を残したところであり、県でも新しい取組みを進めてきた。当協会としてもこのような県の動きに呼応して、仮置場の円滑な運営のための実地研修や仮置場候補地の評価作業などに積極的に協力をした。また、関東地方の他都県とともに、広域災害が起きた場合における応援体制を一日でも早く確立させるべく連携を強化して取り組んできたところである。

I 自主事業部門

1. 調査研究事業

- ① 人件費、燃料費、電気代等の諸経費上昇を踏まえ、令和5年度に引き続き、建設廃棄物の処理・処分価格実態調査を行った。
- ② 県との協定を踏まえて災害廃棄物の処理を行う場合に、各事業者からどれくらいの機材や施設設備の提供が可能であるかの調査を行った。
- ③ 「ヒヤリ・ハット」事例の収集を継続的に行い、令和6年9月末までに収集したものをホームページに掲載するとともに、令和6年のヒヤリ・ハット事例集を会員に示し、その活用を促した。

2. 労働安全衛生推進事業

- ① 令和5年度から令和7年度を上半期とした第3次労働災害防止計画を踏まえ、経営者のリーダーシップのもと労使が一体となった労働安全衛生対策の取組みを呼び掛ける

とともに、労働災害防止に向けた研修会を実施した。また、会員企業における「安全衛生活動の現状調査」を実施した（調査対象400社 回答111社 回答率27.75%）。

- ② 「安全標語」の募集、審査を行い、協会ホームページのトップページに掲載するなど様々な広報活動の場面で活用し、安全に対する意識を高めた。296点の応募から「ちょっと待て！ 作業をとめる その勇気 あなたの声で 守ろう安全」が最優秀賞に選ばれた。

3. 研修事業

（1）熱中症対策セミナー2024（東京海上日動火災保険㈱との包括連携協定に基づく）

開催日 令和6年 6月10日（月） Webセミナー
参加者 32社
講師 東京海上日動火災保険㈱ コマーシャル損害部
ロスプリ&戦略チーム（LTS） 吉田 基裕 氏

（2）KYT（危険予知訓練）研修会

開催日 令和6年10月24日（木） 千葉県自治会館
参加者 31名
講師 中央労働災害防止協会関東安全衛生サービスセンター専門役
安全・衛生管理士 須田 核太郎 氏

（3）県内視察研修（協会・千葉県産業廃棄物処理業協同組合の共催）

日程 令和6年 8月 5日（月）
視察先 ブリヂストンタイヤソリューションジャパン㈱
バンダグ・リトレッド千葉ファクトリー
参加者 25名

（4）許可申請に関する講習会等

（公財）日本産業廃棄物処理振興センターが主催する、インターネットを利用して行われるオンライン形式の講習会を受講した後の会場試験と、会場において対面形式で行われる講義及び試験の二つについて運営協力を行った。

①オンライン形式の講習会受講後の会場試験（すべてホテルポートプラザちば）

- i) 新規許可申請に関する講習会後試験 5回 269名
- ii) 更新許可申請に関する講習会後試験 7回 676名

- iii) 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会後試験 5回 496名
- ②対面形式による講義及び試験（すべて千葉県自治会館）
 - i) 新規許可申請に関する講習会と試験 2回 247名
 - ii) 更新許可申請に関する講習会と試験 1回 127名
 - iii) 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会と試験 1回 134名

4. 廃棄物の適正処理及びリサイクル等の普及推進事業

日々、廃棄物の適正処理や資源循環などについての課題を整理・検討し、その推進に努めるとともに、次のような事業を行った。

（１）相談事業

県民から電話等で寄せられる処分先についての問合せや許可や届出手続き等に関する相談に随時適切に対応し、必要に応じて会員処理業者の紹介などを行った。

（２）広報啓発事業

- ① 「協会報」（2024 夏号、2025 冬号）を作成し、会員、関係官公庁、各種団体、各都道府県協会、排出事業者等に配布することにより、協会の活動や関係行政機関からの通達など、さまざまな産業廃棄物処理に関する情報提供を行った。
- ② 協会ホームページに行政や全産連等からの情報を速やかに示した。
【URL : <https://www.chiba-sanpai.or.jp>】
- ③ 新聞や刊行物への広告、記事掲載により協会活動の広報を行った。
- ④ 千葉テレビ放送㈱および(一財)千葉県環境財団主催の第19回夏休みエコ絵画コンクールに協賛した。
- ⑤ 国交省関東地方整備局が主催する「大型車通行適正化に向けた関東地域連絡協議会」の啓発活動（チラシ等の配布など）に協力した。
- ⑥ 「エコメッセ2024 in ちば」（令和6年10月19日、20日 幕張メッセ国際会議場で開催）に協賛した。

（３）第24回千葉県廃棄物適正処理推進大会への参画

千葉県廃棄物適正処理推進大会実行委員会の一員として運営に協力した。

開催日 令和7年1月16日（木）

場 所 千葉県教育会館

被表彰者 当協会からは次の者が表彰された。

千葉県循環型社会形成推進功労者表彰

『千葉県知事感謝状』

碓 隆司 氏（ ㈱アンカーネットワークサービス ）

『千葉県環境生活部長感謝状』

石田 基次 氏（ ㈱五十嵐商会 ）

鷹架 哲也 氏（ 千代田鋳造㈱ ）

参加者 146人

主催 千葉県廃棄物適正処理推進大会実行委員会

(構成員) (一社)千葉県産業資源循環協会・千葉県環境衛生促進協議会・
千葉県産業廃棄物処理業協同組合・(一財)千葉県環境財団・
(一社)千葉県環境保全協議会・(一社)千葉県建設業協会

(4) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）等の普及推進事業

(公社)全国産業資源循環連合会発行の産業廃棄物管理票（マニフェスト）、建設六団体副産物対策協議会発行の産業廃棄物管理票（建設系廃棄物マニフェスト）を有償頒布するとともに、記載方法等の問い合わせに応じた。

・マニフェスト頒布数

『産業廃棄物管理票（マニフェスト）』

直行単票	123,250セット（前年度：99,250セット）
直行連続	112,500セット（前年度：102,500セット）
積替単票	1,850セット（前年度：1,840セット）
積替連続	1,500セット（前年度：3,000セット）
計	239,100セット（前年度：206,590セット）

『産業廃棄物管理票 建設系廃棄物マニフェスト』

建設単票	112,370セット（前年度：123,570セット）
建設連続	126,500セット（前年度：122,500セット）
計	238,870セット（前年度：246,070セット）
合 計	477,970セット（前年度：452,660セット）

(5) 災害廃棄物処理支援

- ① 千葉県が実施した災害廃棄物の仮置場実地研修において講師派遣等委託業務を受託し、令和元年の台風・大雨や令和5年の台風に伴う災害廃棄物の仮置場の対応事例について市町村に紹介、説明したほか、仮置場作成演習や仮置場運営実地演習に際しアドバイスを行った。

- ② 千葉県から災害廃棄物仮置場候補地点検事業委託業務を受託し、8市町11カ所の仮置場候補地の点検を実施した。
- ③ 令和5年に関東地域協議会の構成都県協会間で締結した相互応援協定の円滑な運用に向け、課題整理や情報交換を行った。

(6) 家畜伝染病発生時に殺処分した家畜等の処理支援

高病原性鳥インフルエンザの処理について、県から協定書に基づく協力要請がなされたため、適切かつ迅速な防疫作業支援を行った。

(7) その他

- ① 千葉県主催「千葉県廃棄物リサイクル促進研修会」(Web配信)の開催に協力した。
- ② 建設廃棄物処理委託契約書等を有償頒布した。

Ⅱ 受託事業部門

1. 産業廃棄物処理業者セミナー業務(千葉県・千葉市・船橋市・柏市委託事業)

会場開催日 令和6年10月16日(水) 参加者 208名

場 所 さわやかちば県民プラザ

動画配信期間 令和6年12月1日(日)～令和7年1月31日(金)

※ 配信期間中は24時間視聴可能とした。

視聴回数 Vimeo160回、YouTube再生回数113回

内 容 ・「ミスをしない人間はいない」

～交通事故・輸送事故、その要因と発生のメカニズム～

講師：南関東日野自動車(株) 営業企画部

お役立ちグループ長 山野 慎司 氏

- ・産業廃棄物処理業者に係る遵守事項等について

講師：千葉県環境生活部 廃棄物指導課 監視指導室

副主査 小川 巧 氏

- ・電子マニフェスト導入のメリットについて

講師：千葉県環境生活部 廃棄物指導課 指導企画班

主 事 滝沢 稜 氏

- ・千葉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例(金属スクラップ)

ヤード等規制条例)について

講師：千葉県 環境生活部ヤード・残土対策課

金属スクラップヤード対策班

班 長 細野 義博 氏

2. 許可申請に係る相談業務（千葉県委託事業）

産業廃棄物収集運搬業（積替・保管を除く）の新規・更新・事業範囲変更の許可申請に係る事前相談、優良認定制度に係る相談、新規許可申請に関する説明会を実施した。

また、あわせてリーフレットを配布し、石綿含有廃棄物や水銀廃棄物などの取扱いについての周知徹底や適正処理、コンプライアンスの確保を呼び掛けた。

・新規許可申請に係る事前相談	1, 449回（申請件数	867件）
・更新許可申請に係る事前相談	2, 725回（申請件数	1, 897件）
・事業範囲変更許可申請に係る事前相談	269回（申請件数	166件）
・許可申請に伴う変更届に係る相談	1, 375回（申請件数	1, 049件）
合 計	5, 818回（申請件数	3, 979件）
・優良産廃処理業者認定制度に係る相談		80件
・新規許可申請に関する説明会	24回開催	出席者 39名
・更新手続きお知らせの通知		2, 317件
・産業廃棄物処分業者に対する実績報告書提出に係る通知の配布		291件

3. 災害廃棄物仮置場実地訓練研修業務（千葉県委託事業）

県が実施した仮置場の設置・運営に係る実地訓練において講師派遣業務を受託し、これまでの経験等も踏まえた説明や助言を行うことにより、市町村の災害廃棄物対応力の向上に寄与した。

実施日 令和6年7月25日（木）

場 所 千葉県消防学校（市原市）

内 容 ・講義 「令和元年及び令和5年台風災害に学ぶ」
・ワークショップ 仮置場の作成演習

4. 災害廃棄物仮置場候補地点検事業業務（千葉県委託事業）

市町村が仮置場の候補地として選定した場所について、仮置場としての実効性を点検し、必要に応じた助言を行うことにより市町村の災害廃棄物対応能力の向上を図った。

令和6年11月12日（火） 富津市、鴨川市

- 11月14日（木） 市原市、四街道市
- 11月19日（火） 富里市、多古町
- 11月25日（月） 八千代市、船橋市

Ⅲ 収益事業部門（収益事業）

1. 県収入証紙売捌き事業

産業廃棄物処理業許可申請に当たって県に手数料を納付する申請者の便宜を図るため、県から「県収入証紙売捌き所」の指定を受け、県収入証紙を購入し申請者に有償頒布（売捌き）をした。

なお、産業廃棄物収集運搬業に係る許可申請手数料の電子納付化に伴い、令和6年度末日をもって、当協会における千葉県収入証紙売捌き事業は廃止された。

Ⅳ 法人管理等部門

1. 委員会、部会及び支部等の活動

廃棄物処理関係法令などの改正や業界の環境変化に迅速かつ的確に対処し、また会員の意見や要望に応え得るよう、さまざまな課題の解決に向けた協議を行うため種々の会議を開催した。

（1）委員会

① 総務企画委員会

令和7年度事業計画及び予算について現状に対応した事業内容の見直しや新規事業の検討等を実施した。

② 広報研修委員会

令和7年度県外視察研修について協議した。

③ 適正処理推進委員会

優良事業所及び優良従事者の選考、第24回千葉県廃棄物適正処理推進大会における被表彰候補者の選考等を実施した。

④ 安全衛生推進委員会

第3次労働災害防止計画を策定・周知するとともに、安全衛生研修事業、ヒヤリ・ハット事例の収集、労働安全に関する表彰及び安全標語の選考等を実施した。

⑤ 処理料金調査特別委員会

建設系廃棄物処理料金調査の取りまとめ等を行った。

(2) 部 会

開催日 令和6年10月21日(月)

場 所 三井ガーデンホテル千葉

① 収集運搬部会

内 容 「2024年問題の対応と安全対策」について

参加者 26名

② 建設廃棄物部会

内 容 ・再生砕石の状況について
・建廃DXについて
・課題及び今後の活動について

参加者 16名

③ 中間処理リサイクル部会・医療廃棄物部会(合同開催)

内 容 ・施設の予防保全・維持管理について
・廃棄物の取り扱い上の安全確保の進め方について
・中間処理リサイクル部会・医療廃棄物部会に対する要望

参加者 26名

④ 講演会

演 題 「日本における最終処分場の研究・技術開発の変遷」

講 師 明星大学理工学部 教授 宮脇 健太郎 氏

参加者 72名

⑤ 賛助会員建設部会

ア. 正・副部会長会議

第1回 令和6年7月5日(金) 協会役員室

イ. 意見交換 令和7年2月5日(水) 協会会議室

講 演 「盛土規制法の現状の状況について」

千葉県県土整備部 都市整備局 都市計画課

宅地対策調査室 室 長 平田 修巳 氏

宅地対策調査室 副主幹 稲 恒雄 氏

(3) 支部会議

支部における諸問題を協議し、会員相互の情報交換を行い、併せて行政当局に対する要望等を行った。

① 中央支部会議

開催日 令和6年8月23日(金)
場 所 三井ガーデンホテル千葉
参加者 43名

② 西支部会議

開催日 令和6年8月2日(金)
場 所 ホテルフローラ船橋
参加者 43名

③ 南支部会議

開催日 令和6年7月30日(火)
場 所 五井グランドホテル
参加者 38名

【共通議題】 ○「労働災害防止について」

千葉労働局健康安全課

副主任 労働衛生専門官 関 高久 氏

○「千葉県廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する指導要綱」について

千葉県環境生活部 廃棄物指導課 副課長 西田 寛子 氏

○「千葉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱」について

千葉県環境生活部 廃棄物指導課 副課長 西田 寛子 氏

○意見交換

行政又は協会に対する意見・要望事項について

2. 関係機関、団体との連携、協力

(1) 行政との連携、協力

- ① 主に環境省から提供される行政情報を協会ホームページに掲載するとともに、会員に対しメール等で情報提供を行った。
- ② 千葉県環境生活部とは、支部会議等各種会議において講演や説明をしていただくとともに、協会側としても県主催事業に協力するなど日常的に意思疎通を図った。
- ③ 県及び柏市からの依頼を受け、千葉県環境審議会委員、柏市廃棄物処理清掃審議会

委員を受任した（岩楯副会長、半田専務理事）。

④ 行政懇談会

千葉県及び3市（千葉市・船橋市・柏市）と行政懇談会を開催し意見交換を行った。

開催日 令和6年12月17日（火）

場 所 ホテルポートプラザちば

参加者 36名（協会21名、県9名、3市6名）

内 容 ○要望書提出

○県からの説明

千葉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱の改正について

○意見交換

ア. 県内産業廃棄物処理業者に対する今後の指導について

イ. 再生砕石の需要拡大等について

ウ. 災害廃棄物について

エ. 千葉県廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する指導要綱について

（2）他団体との連携、協力

① （公社）全国産業資源循環連合会が行う諸事業並びに各種調査研究事業に、協会役員が委員として参加するなど、連合会の事業推進に協力した。

② 関東地域の都県協会と交流を図り、国への要望や全産連の活動など産業廃棄物に関する諸問題について意見交換した。

・第72回関東地域協議会

開催日 令和6年4月16日（火）

場 所 東京大神宮マツヤサロン（東京都千代田区）

内 容 ○議事

ア. 令和5年度 事業報告及び収支決算報告

イ. 令和6年度 事業計画案及び収支予算案

ウ. 委員会・部会等の設置及び令和5年度の活動状況について

エ. 次回開催地について

オ. その他

○全国産業資源循環連合会の活動報告

○その他

○講演

資源循環業界におけるサーキュラーエコノミーの実装化に向けて

講師：環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課

課長 松田 尚之 氏

・第73回関東地域協議会

開催日 令和6年11月8日（金）

場 所 パレスホテル大宮（埼玉県さいたま市）

内 容 ○議事

ア．再資源化事業等高度化法について

イ．その他

○全国産業資源循環連合会の活動報告

○その他

○講演

資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する
法律について

講師：環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課

課長 松田 尚之 氏

- ・災害廃棄物委員会の災害廃棄物支援可能機材・施設等調査に協力した。
- ・建設廃棄物対策委員会に参加し、処理料金調査を実施した。
- ・事務責任者会議（10月、3月）、事務担当者会議（2月）に参加した。

③ （一財）千葉県環境財団のちば環境再生推進委員会会議に委員として杉田会長が出席した。

3. 新規会員の加入促進、会員間の連携強化

機会を捉えて、協会未加入の産業廃棄物処理業者や排出事業者に対して事業内容等を説明し、産業廃棄物の適正処理について協力を求めるとともに、協会の事業紹介リーフレットを配布し、正会員及び賛助会員の加入促進を図った。

4. 顕彰・表彰事業

① 会長表彰として、功労者2名、優良事業所3事業所及び優良従事者33名を第12回定時総会において表彰した。

【功 労 者】 加瀬 邦雄 氏（株ナリコー）

高橋 政行 氏（船橋興産株）

【優 良 事 業 所】 保田産業株（市原市）

(株)フジコー（白井市）

太陽建設(株)（長生郡長柄町）

【優良従事者】○産業廃棄物処理業務10年以上従事

須藤 健 氏（(株)市川環境エンジニアリング）

荒井 義徳 氏（大平興産(株)）

藤田 悟 氏（千代田鋳砕(株)）

村上 承平 氏（千代田鋳砕(株)）

切替 稔之 氏（J&T環境(株)）

嶋崎 尚仁 氏（エコシステム千葉(株)）

金子 浩慎 氏（(株)市原ニューエナジー）

石渡 茂樹 氏（(株)市原ニューエナジー）

豊島 宏幸 氏（J&T環境(株)）

山下 直幸 氏（エコシステム千葉(株)）

古村 浩幸 氏（大平興産(株)）

堀口 鉄也 氏（(有)妻本商店）

齋藤 隆宏 氏（(株)富澤商店）

三浦 香 氏（(株)TOAシブル）

渡辺 信勝 氏（(有)妻本商店）

古屋 翔大 氏（(株)カンナ）

富澤 裕貴 氏（(株)富澤商店）

畠山 敏郎 氏（(株)日美産業）

鈴木 彬佑 氏（(株)日美産業）

○産業廃棄物処理業務20年以上従事

相馬 英彦 氏（(株)市川環境エンジニアリング）

大田まさ美 氏（エコシステム千葉(株)）

齋藤 雅博 氏（(株)市原ニューエナジー）

小川 重春 氏（(株)佐倉環境センター）

齋藤 吉宏 氏（(株)佐倉環境センター）

佐藤 英雄 氏（(株)TOAシブル）

谷本 強 氏（(株)TOAシブル）

太田 直美 氏（(株)市川環境エンジニアリング）

真野 一夫 氏（共同リサイクル(株)）

○産業廃棄物処理業務30年以上従事

沢下 勝美 氏（(株)市川環境エンジニアリング）

種村 聖二 氏（(株)TOAシブル）

根本 勝夫 氏（(株)TOAシブル）

渡辺 明美 氏（エコシステム千葉(株)）

鈴木 仁史 氏（エコシステム千葉(株)）

- ② 会長表彰として、労働安全優秀賞2事業所、労働安全特別賞6事業所、労働安全功労者賞2名及び安全標語最優秀賞1名を第12回定時総会において表彰した。

【労働安全優秀賞】 エコシステム千葉(株)（袖ヶ浦市）

(有)柏廃材処理センター（柏市）

【労働安全特別賞】 (株)市原ニューエナジー（市原市）

J&T環境(株) 千葉事業本部（千葉市）

千葉美装(株) エコRCセンター（南房総市）

千葉美装(株) エコウッド（安房郡鋸南町）

(有)妻本商店（鴨川市）

(株)TOAシブル（八千代市）

【労働安全功労者賞】 庄田 篤史 氏（(株)TOAシブル）

渡辺 信勝 氏（(有)妻本商店）

【安全標語最優秀賞】 高山 成人 氏（保田産業(株)）

- ③ (公社)全国産業資源循環連合会会長表彰として、優良事業所1事業所、地方優良事業所3事業所及び優良従事者5名を推薦し、表彰された。

【優良事業所】 (株)城 装（市原市）

【地方優良事業所】 共同リサイクル(株)（成田市）

(有)妻本商店（鴨川市）

(株)エコ・マイニング（八千代市）

【優良従事者】 佐々木 剛 氏（高俊興業(株)）

長嶋 健一 氏（(株)ナリコー）

今井 秀和 氏（(株)ナリコー）

庄田 篤史 氏（(株)TOAシブル）

佐藤 和幸 氏（(有)妻本商店）

- ④ 環境大臣表彰として、循環型社会形成推進功労者（産業廃棄物関係事業功労者）2名を推薦し、「第20回産業廃棄物と環境を考える全国大会」において表彰された。

小池 陽二 氏（ ㈱タケエイ ）

岩楯 保 氏（ ㈱市川環境エンジニアリング ）

⑤ 山本 隆 氏（ ㈱日美産業 ）が秋の叙勲で旭日単光章を受章された。

5. 定時総会、常任理事会及び理事会等の開催

（1）第12回定時総会

開催日 令和6年5月30日（木）

場 所 三井ガーデンホテル千葉

出席者 293社（うち委任状160社、議決権行使書60社）

議 事 <議案> 第1号議案 令和5年度事業報告について

第2号議案 令和5年度決算について

第3号議案 任期満了に伴う役員の選任について

以上の議案は、原案のとおり承認された。

<報告> 第1号 公益目的支出計画実施報告について

第2号 令和6年度事業計画について

第3号 令和6年度予算について

（2）常任理事会、理事会

事業の円滑な執行等を図るため、常任理事会、理事会を開催し、協会の運営並びに当面の諸問題等に関して協議した。

令和6年 5月 8日（水）常任理事会、理事会

5月30日（木）理事会、臨時理事会

6月25日（火）常任理事会、理事会

7月23日（火）常任理事会、理事会

9月24日（火）常任理事会、理事会

10月22日（火）常任理事会、理事会

11月26日（火）常任理事会、理事会

12月17日（火）理事会

令和7年 1月15日（水）常任理事会、理事会

3月26日（水）常任理事会、理事会

6. その他の事業

(1) 親睦ゴルフコンペ

開催日 令和6年9月26日(木)
場 所 ロイヤルスターゴルフクラブ (君津市)
参加者 25名

(2) 新年賀詞交歓会 (千葉県産業廃棄物処理業協同組合と共催)

開催日 令和7年1月15日 (水)
場 所 ホテルグリーンタワー幕張
参加者 197名

【 会員の変動状況 】

(令和7年3月31日現在)

区 分	期 首	入 会	退 会	期 末	増 減
正 会 員	405	3	6	402	△3
賛助会員	39	4	2	41	2
計	444	7	8	443	△1

(正会員内訳)	収集運搬のみ	209社
	中間処理のみ	33社
	最終処分のみ	2社
	収運・中間	146社
	収運・最終	4社
	中間・最終	1社
	収運・中間・最終	4社
	排出事業者その他	3社

【 役 員 名 簿 】

(令和7年3月31日現在)

役 職	氏 名	会 社 名
会 長	杉 田 昭 義	杉田建材(株)
副 会 長	大 賀 実	高俊興業(株)
副 会 長	岩 楯 保	(株)市川環境エンジニアリング
副 会 長	安 池 慎一郎	(株)TOAシブル
専務理事	半 田 徹 也	(一社)千葉県産業資源循環協会
常任理事	新 井 隆 太	新井総合施設(株)
常任理事	高 橋 政 行	船橋興産(株)
常任理事	大 池 秀 和	エコシステム千葉(株)
常任理事	吉 田 理 和	(株)富澤商店
常任理事	水 内 郁 夫	(株)京葉興業
理 事	平 澤 雅 彦	大平興産(株)
理 事	保 田 優 太	保田産業(株)
理 事	伊 藤 公 子	共同リサイクル(株)
理 事	坂 本 剛	太陽建設(株)
理 事	瀬 田 英 博	(株)エコ・マイニング
理 事	小 林 敬 司	J & T環境(株)
理 事	碓 隆 司	(株)アンカーネットワークサービス
理 事	小 出 直 紀	(株)佐倉環境センター
理 事	石 井 典 子	(株)石井興業
理 事	古 舘 将 司	(株)タケエイ
理 事	中 田 守	(一社)千葉県環境保全協議会
理 事	吉 野 毅	(一社)千葉県商工会議所連合会
監 事	田 中 昌 夫	税理士法人 千葉中央会計事務所
監 事	山 本 佳 祐	(株)日美産業

参 考

環境保全対策基金運営委員会

環境保全対策基金は、産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理により生じる生活環境への支障の除去のほか、資源循環や適正処理の推進に関する事業者・県民の意識高揚や産業廃棄物処理業に対する理解を広めてその健全な育成を図ることを目的に設置されている。

この基金の適正かつ効果的な運営を図るために基金運営委員会会議を開催した。

なお、令和6年度より宮脇健太郎氏が新委員長に就任した。

○第1回環境保全対策基金運営委員会

開催日 令和6年7月19日（金）

場 所 協会会議室

議 事 （1）令和6年度環境保全対策基金事業計画および進捗状況について
（2）その他

○第2回環境保全対策基金運営委員会

開催日 令和7年1月16日（木）

場 所 千葉県教育会館 楽屋①

議 事 （1）令和6年度環境保全対策基金事業の進捗状況について
（2）令和7年度環境保全対策基金事業計画（案）について
（3）その他

役 職	氏 名	所属・役職
委 員 長	宮 脇 健太郎	明星大学 理工学部 教授
副委員長	入 江 信 明	(一財)千葉県環境財団 理事長
委 員	岩 田 元 一	(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事
委 員	石 田 涼	千葉県環境生活部 循環型社会推進課長
委 員	渡 邊 岳 夫	千葉県環境生活部 廃棄物指導課長
委 員	大 賀 実	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長
委 員	岩 楯 保	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長
委 員	安 池 慎一郎	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長

青年部会活動報告

青年部会は、処理業界の次代を担う後継者、または会社幹部として自主的な研鑽を重ねるとともに、会員の親睦を目的として39名をもって構成され、会員の増強、組織の拡大、他団体との交流及び積極的な事業展開を期して、以下のとおりの活動を行った。

1. 組織の充実強化

青年部会の組織の充実のため、部会員の加入について協会の理事会、支部会議や常時協会活動を通じて新規加入の促進を図った。(4名加入)

2. 定時総会

第12回定時総会を令和6年5月23日に開催し、令和5年度事業報告及び収支決算報告、令和6年度事業計画及び収支予算並びに役員の選任について原案のとおり承認された。

3. 役員会

役員会を11回(うちWeb開催1回)開催し、定時総会提案議案の審議及び青年部会の事業運営等について協議した。

4. 記念事業

青年部会設立30周年記念式典及び祝賀会を令和6年10月18日に開催した。

5. 研修会等

(1)「プロドライバーを育てるルールセミナー」

～プロドライバーの育成が業績アップのカギ～

ドライバーのモチベーションを促すしくみ

講師：南関東日野自動車株式会社

営業企画部 教育・研修グループ グループ長 山野 慎司 氏

(2) ①「自社を取り巻く経営環境の分析及び

今後の方向性の見出し方について」

②「マーケティング戦略のフレームワークについて」

講師：笠井中小企業診断士・社会保険労務士事務所 代表 笠井 郁央 氏

(3) 企業型確定拠出年金を有効に利用した人材確保について」

講師：ワイズファイナンシャルサポート(株) 代表取締役 本多 雄一 氏

(4) 県外視察(福岡県)

- ・太陽光パネル熱分解リサイクル処理施設見学
株式会社リサイクルテック 北九州工場
- ・最先端ロボット製造工場見学

6. 他都県協会との交流

- (1) 全国産業資源循環連合会青年部協議会
 - ・第25回通常総会（東京都港区）
 - ・第14回カンファレンス（愛媛県松山市）
- (2) 全国産業資源循環連合会青年部協議会 関東ブロック
 - ・第20回通常総会、講演会、懇親会（栃木県宇都宮市）
 - ・新春講演会、賀詞交歓会（神奈川県横浜市）
 - ・幹事会

7. 千葉県中小企業団体青年中央会

総会、その他関連行事等に参加した。

女性部会活動報告

女性部会は、女性の視点からみた「環境」「廃棄物業界」「リサイクル」についての課題を協会に提案するとともに、部会員相互で情報交換し、互いの知識向上、親睦を図ることを目的として8名で構成されている。意見交換会等を開催したり（4月、6月、10月）、青年部会の行事に積極的に参加したりした。